

絵の具でゆめもよう

(使うもの) 小さめの紙を4枚以上 (B5サイズくらいの紙、または約12cm×18cmくらいの紙、コピー用紙や画用紙など、どのような紙でもよい)、絵の具セット、ストロー(ない場合はつかわなくてもよい)、新聞紙(床などまわりが汚れないように下にしくもの)、教科書P8・9も^{さんこう}参考にしましょう。

・下の①～④の方法で、絵の具をつかって、いろいろなもようをつくってみましょう。

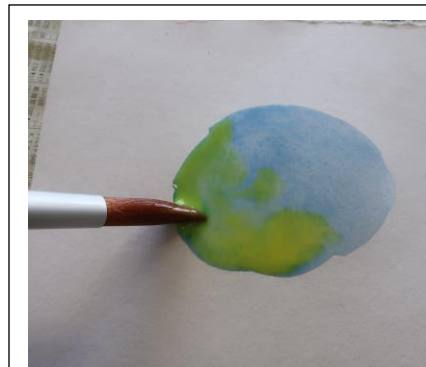
・まわりが絵の具で汚れないように新聞紙などを下に広げておきましょう。

①ドリッピング・・・多めの水でといた絵の具を筆に^{ふて}ふくませ、紙の上から絵の具をたらす。



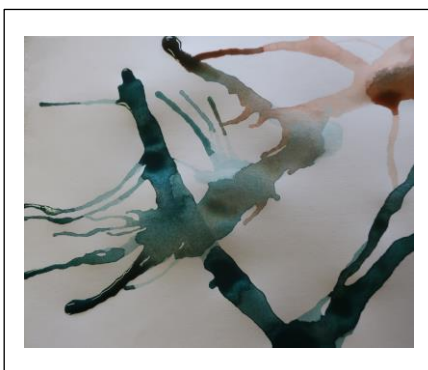
②にじみ・・・紙に筆で水をぬっておき、そこに絵の具をつけてにじませる。

または多めの水でといた絵の具を紙にぬり、かわかないうちに、ちがう色を上からぬる。



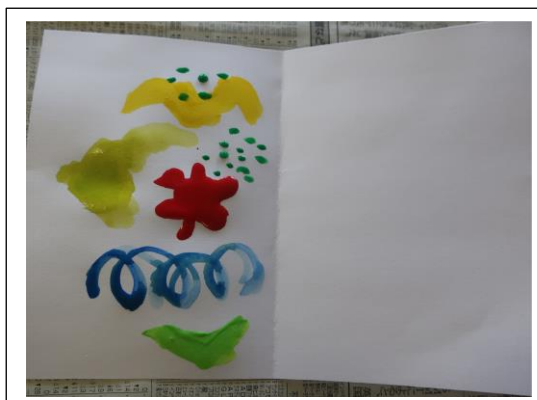
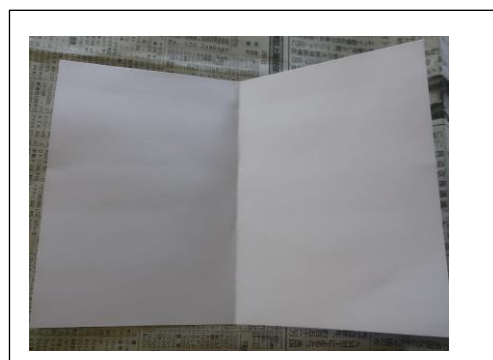
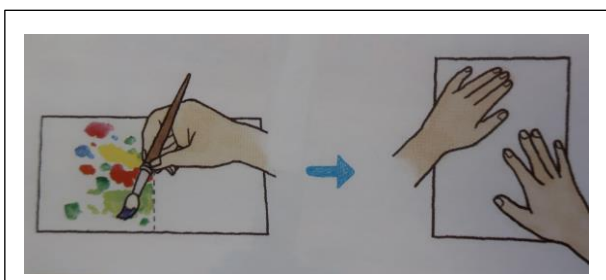
③吹きながし・・・多めの水でといた絵の具を紙につけ、ストローなどで吹いてもようをつくる。

(ストローがない場合は、息を絵の具の近くでふきかける)



④デカルコマニー・・・紙を半分に折ってひらき、半面に絵の具をつけて紙をとじます。

手で紙をおさえてから紙をひらくと、もようができます。絵の具の水の量や、紙をおさえるつよ強さをかえてみましょう。



☆①～④の方法をくみあわせてもおもしろいもようができるかもしれません。

いろいろためしてみましよう。

しょうかい

紹介した方法のほかに、自分で考えた方法があればためしてみましよう。



※つくったもようの中から、うまくできたものを学校再開後に持ってきてください。

必ず、紙のうらにクラスと名前をかきましよう。